

記入例

指定給水装置工事事業者 指定更新時確認事項

登記事項証明書、住民票の記載通りに記入してください。

令和 年 月 日

氏名又は名称

印

郵便番号、住所

〒

代表者氏名

電話番号

① 提出先の水道事業者（水道事業者等の連携による広域開催も含む）が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績（過去5年以内）

受講年月日（受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。）

公表：□可・□不可

□受講（

① 年 月 については記入不要

（未受講の場合、その理由）※ 非公表です。

② 指定給水装置工事事業者の業務内容 ※ 以下該当部 □にチェックをつけてください。

1) 休業日、営業時間（修繕対応時間もご記入ください。）

公表：☑可 / □不可

休業日：☑土曜日 / ☑日曜日 / ☑祝日 / ☑その他（お盆、GW、年末年始）

営業時間： 8 時 ～ 17 時 （夜間対応 ☑可 17 時から 22 時 / □不可）

その他：（ 22 時以降は要相談 ）

2) 漏水等修繕対応の可否

公表：☑可 / □不可

☑屋内給水装置の修繕

☑埋設部の修繕

□その他（

）

3) 対応工事種別（新設・改造 等）

公表：☑可 / □不可

☑配水管からの分岐 ～ 水道メーター（□新設 / □改造 / ☑両方に対応）

☑水道メーター ～ 宅内給水装置（□新設 / □改造 / ☑両方に対応）

4) その他の情報（緊急連絡先等）

公表：□可 / ☑不可

緊急時連絡先 XXX-XXXX-XXX0X

※ 公表には、ホームページ等への掲載を含みます。公表を可としても公表しないことがあります。

※ 業務内容に変更が生じた場合は、速やかに指定した水道事業者はその旨を届け出るようお願いします。

※ 電話番号の公表を望まない場合は、その旨を（4）その他へご記入ください。

公表を不可と選択したものは公表しません。

③ 給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去5年以内）

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事するために、研修の機会を確保するよう努めること。

e - ラーニングの場合、受講終了時の終了年月日が表示された画面を印刷して添付してください。

受講者名（公表対象外）	研修会名、実施団体	受講年月日
市川 太郎	☐ 自社内研修（ ） ☒ 外部研修（給水工事技術振興財団 e - ラーニング） ☐ その他（ ）	令和3年5月10日
三郷 次郎	☐ 自社内研修（ ） ☒ 外部研修（給水工事技術振興財団 現地研修会） ☐ その他（ ）	令和3年9月27日
上水 三郎	☒ 自社内研修（〇〇に関する業務研修） ☐ 外部研修（ ） ☐ その他（ ）	令和3年10月7日
受講者名は公表しません。	☐ 自社内研修（ ） ☐ 外部研修（ ） ☐ その他（ ）	月 日
	☐ 自社内研修（ ） ☐ 外部研修（ ） ☐ その他（ ）	年 月 日
	☐ 自社内研修（ ） ☐ 外部研修（ ） ☐ その他（ ）	年 月 日
	☐ 自社内研修（ ） ☐ 外部研修（ ） ☐ その他（ ）	年 月 日
	☐ 自社内研修（ ） ☐ 外部研修（ ） ☐ その他（ ）	年 月 日

上記内容の公表の可否： ☒ 可 / ☐ 不可（公表には、ホームページ等への掲載を含みます）

自社内研修の場合は、研修内容を記入してください。

※ 外部研修については、受講を証明する書類（受講証／修了証等）の写しを添付してください。

※ 自社内研修については、研修内容を記載してください。

※ 受講者名は、公表の対象ではありません。

※ 行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

※ 公表を可としても公表しないことがあります。

e - ラーニング以外の外部研修を受講した場合は、受講証等のコピーを添付してください。

④ 過去 1 年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

水道法施行規則 第 36 条

給水装置工事に主に従事した者。

法第 25 条の 8 に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

2 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施行する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないように適切に作業を行うことができる技能者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。

工事を施工しない場合は、
☑を記入してください。

☐ 「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しないため不要

過去 1 年以内の工事实績がない場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか (○×を記入)		工事年度
			保有している資格等 ※ 下記欄外にある①～④の下線部の資格等	
市川 太郎	○	○	講習会修了者	
三郷 次郎	○	○	検定会合格者	R2
上水 三郎	○	×		H30
は下請け等も含み、給水装置工事に主に従事した者を記入する。※ 氏名については公表しません。				
上記内容の公表の可否：□可 / ☒ 不可 (公表には、ホームページ等への掲載を含みます。)				

※ 以下に示す保有資格等 (下線部) を記載してください。

- ① 水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工 (配管技能者、その他類似の名称のものを含む)
- ② 職業能力開発促進法 (昭和 44 年法律第 64 号) 第 44 条に規定する配管技能士
- ③ 職業能力開発促進法第 24 条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者 (配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定)

資格を証明する書類 (資格証等) の写しを添付してください。

「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しない場合は、任意の記載となります。

技能を有する者の氏名は、公表対象ではありません。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

※ 公表を可としても公表しないことがあります。

不可を選択した場合は、公表しません。

資格を証明する書類のコピーを添付してください。